

九
〇

平山奇談後編

卷八

一



遠山奇蹟後編序



山中文庫

華あり。實はつる。實をよむ。業と
し。又それ花をそとづかひ。わ
らう。あつ。し。む。枝。ふ。う。ら。う。
う。わ。ら。う。や。え。り。う。ら。う。う。く。
づ。わ。の。枝。と。り。な。お。ん。こ。の。み。う。
く。み。り。て。な。お。り。む。し。う。や。ま。
う。と。う。り。し。は。ら。う。に。奇。
と。な。ふ。の。あ。る。を。お。折。あ。ら。う。

○遠山奇蹟序

その花をよむ。さ。う。奇。蹟。は
る。く。う。ら。う。う。う。う。う。う。
無。ふ。と。う。う。う。

言わく。改ざりし。ま。れ。と。う。日

花後山人

し。う。う。

そのまき治後編目録

巻之一



○ 才一章 疾疫

○ 才二章 其山の材木を天に下りて人かたよりけりて其のまき

○ 才三章 敬してしつゝをばしり 敬してしつゝをばしり 大門建立し

○ 才四章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり 敬してしつゝをばしり

○ 才五章 むり大門のていふ 敬してしつゝをばしり

○ 才六章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才七章 水内よりけりて敬してしつゝをばしり

巻之二

○ 才八章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才九章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才十章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才十一章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才十二章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

そのまき治前編目録

序ノ次

○ 一ノ初

巻之三

○ 才十三章 衣が何のノノキ 衣が何のノノキ

○ 才十四章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才十五章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才十六章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才十七章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才十八章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才十九章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

巻之四

○ 才二十章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才二十一章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才二十二章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

○ 才二十三章 其山よりけりて敬してしつゝをばしり

以上

そのまき治後編目録終

のり。つらふおむさうひ。二一集るといふまふは
れか^{うか}敏^{びん}かこ^{しん}業^{げん}せふものいをうりき。けをの材^{ざい}本^{ほん}法^{ぽう}に
く^くし^しい^い法^{ぽう}を^をま^まれ^れれ^れども。津^つ中^{ちゆう}ふ^ふへ^へつ^つつ^つふ^ふ集^{あつ}り^りを
と^とつ^つふ^ふ付^つく。お^おり^りひ^ひと^とせ^せし^しと^とあり。周^{しゆう}み^みひ^ひ
ぬ^ぬり^りと^とん^んづ^づ。飛^{とび}く^くな^なと^とち^ちて。これと^とき^きと^と。
佛^{ぶつ}道^{どう}の^のま^まま^ま中^{ちゆう}に^に化^{ちやく}力^{りき}を^をれ^れい。又^{また}ま^まく^くて。法^{ぽう}并^{へい}法^{ぽう}
仏^{ぶつ}わ^わら^らの^の守^{しゆ}護^ごし^しま^まい^いる^ること^との^の取^{しゆ}且^じく^くる^るま^まう^うと。
ま^まう^うま^まう^うと

○才三章

けやき一本もつじより^あ上^{じやう}せ^せ
ひう^{ひう}い^いづ^づり^りの^のま^まう^う

か^かが^がれ^れら^らる^る材^{ざい}本^{ほん}つ^つら^らふ^ふ一^{いっ}所^{しよ}く^く集^{あつ}り^りく^くま^まし^しつ^つふ^ふ付^つて。



ちひおせしし。じりりいふ大門津建（じんけん）とあしせらるるこそ。に
 宮保（みやうほ）はままた三月（しがつ）正（たつ）月（げつ）は雨津（あづ）新（しん）始（ぎ）ありしより。長（なが）くは材（ざい）木（ぼく）雨（あ）は
 ありあしせられ。津建（じんけん）も申（まこと）こつは。美園（みえん）より概（がい）まふ
 是（こゝ）所のまうく（ごう）まのま（ま）り。日本（にっぽん）も表（あらわ）す（べん）（せんた）
（かんぎ）
 と表（あらわ）す。に。津（つ）がふ（ふ）らん（らん）に。あ（あ）され（され）。美園（みえん）より概（がい）
 飾（かざ）して。けい（けい）大門（だいもん）建（けん）立（たつ）の（の）。美園（みえん）まで（まで）ま（ま）い（い）る（る）。石（いし）や
 けい（けい）も（も）せ（せ）。こ（こ）れ（れ）が（が）あ（あ）ら（ら）る（る）。一日（いちにち）も（も）く（く）人（ひと）で
 去（い）り（り）た（た）ら（ら）ぬ（ぬ）。終（つひ）ら（ら）ぬ（ぬ）は友（とも）の（の）人（ひと）ま（ま）お（お）
 具（ぐ）—。い（い）た（た）き（き）た（た）り（り）の（の）美園（みえん）より概（がい）材（ざい）木（ぼく）の

ト一と。ふむ。はらけ。ふ。美國より交易の船を付けてお米
被比の入海。お米の海をさる。り。船も。れに。と
き。だ。け。ま。い。ま。の。ま。い。う。ん。ふ。あ。ひ。あ。つ。付。け。材。木
の。本。お。ち。う。船。付。り。美。國。ふ。け。ち。ま。う。や。う。れ。だ。と。お。米
も。日。本。凡。ま。う。ら。ら。ま。せ。一。体。お。け。ち。ま。い。あ。り
こ。も。月。ふ。ま。い。あ。わ。ら。ん。日。本。ふ。う。と。一。人。ふ。け。て
ま。う。べ。一。ま。い。け。だ。お。ち。あ。り。を。り。ま。う。け。て。ま。い
う。け。ら。り。ま。い。材。木。お。ち。う。本。山。一。け。て。一。人。に。ま。い
舞。止。お。ち。仕。青。洋。紙。洋。建。立。の。付。の。番。士。ふ。う。り
概。ら。る。を。せ。う。せ。ら。れ。ら。う。の。付。の。番。士。海。外。へ。う。り。ま。い

○まに山は海来之一

○又

一入され。と。これ。は。月。刊。を。ま。い。ふ。ち。ん。は。月。に
老。翁。ま。い。ま。り。お。ち。う。ら。ら。る。ま。い。こ。れ。が。ト。一。お。れ。が
ま。う。一。と。ま。い。く。と。一。を。ら。ん。若。老。翁。ま。い。ま。り。お。ち。う。ら
と。ま。い。く。下。に。び。ら。ま。い。若。老。翁。ま。い。ま。り。お。ち。う。ら
ト。一。と。ま。い。く。と。一。は。づ。づ。つ。ら。ら。ら。げ。付。平。あ。つ。せ。ら。れ
お。ち。の。概。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い
と。ま。い。く。一。以。実。考。あ。れ。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い
ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い
あ。り。概。一。本。を。ま。い。せ。ら。れ。ら。う。と。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い
時。不。足。せ。概。一。今。く。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い。ま。い

なげられしき。さうあれど。又大門建立の時。頼朝と
せし。い。し。ま。ま。成。の。中。に。あ。ら。り。い。ふ。な。ら。ん。と。
遅。う。だ。早。う。さ。ら。ん。と。い。ひ。の。ち。ま。ご。と。して。幸。ふ
く。又。門。建。立。の。時。に。た。け。と。又。門。の。柱。の。ま。ら。ん
月。也。一。げ。り。中。は。ま。り。せ。ら。れ。て。又。門。表。の
わり。二。や。め。の。柱。也。一。殊。に。沖。新。を。建。立。す。り。い。
又。ひ。つ。り。の。水。中。に。ま。り。ゆ。く。も。ま。ま。か。つ。る。り。て
陸。も。ら。ん。さ。り。と。す。と。あ。ら。り。も。ら。ん。と。い。ふ。
ま。ご。と。さ。ら。ん。中。の。乃。よ。あ。ら。り。皆。め。あ
の。加。被。力。の。ま。ご。と。お。た。り。と。い。ふ。さ。ら。ん。也。

○香山はあ巻之一

○六

すれ。あ。ら。り。の。今。後。と。地。也。い。ち。や。ん。錢。の。是
の。苦。勞。と。い。は。り。の。さ。り。の。口。と。鼻。一。傷。と。い
ゆ。なり。と。ま。ご。と。い。は。り。今。後。と。ま。ご。と。
あ。と。傷。と。い。は。り。皆。め。あ。の。内。に。ま。り。感。也。一
○才四章
地。の。ま。ご。と。安。ん。ふ。り。今。後。に。ま。ご。と。
ひ。一。概。美。園。の。流。も。と。又。さ。ら。ん。と。い。は。り。ま。ご。と。
た。ら。ふ。つ。つ。の。さ。ら。ん。と。い。は。り。の。ち。う。と。い。は
ま。ご。と。一。それ。と。い。は。り。今。後。と。い。は
概。一。と。い。は。り。今。後。と。い。は。り。今。後。と。い。は。り。
今。後。と。い。は。り。今。後。と。い。は。り。今。後。と。い。は。り。

持たせられし人に。何の障りもなき。後夜もやうふ。おぼし
 きれ。このまじく。たまたまはけ。く。本と一せる。又持たせられ
 て。まじく。たまたま。おぼし。く。おの。障りもなき。まじく
 あり。く。おぼし。たまたま。おぼし。たまたま。おぼし。たまたま。おぼし
 持たせられし人に。何の障りもなき。後夜もやうふ。おぼし
 きれ。このまじく。たまたまはけ。く。本と一せる。又持たせられ
 て。まじく。たまたま。おぼし。く。おの。障りもなき。まじく
 あり。く。おぼし。たまたま。おぼし。たまたま。おぼし。たまたま。おぼし

○きよ山は福巻之一

○オ入章

〇一ノ門の付く
 〇二ノ門の付く
 〇三ノ門の付く
 〇四ノ門の付く
 〇五ノ門の付く

〇一ノ門の付く。〇二ノ門の付く。〇三ノ門の付く。〇四ノ門の付く。〇五ノ門の付く。〇六ノ門の付く。〇七ノ門の付く。〇八ノ門の付く。〇九ノ門の付く。〇十ノ門の付く。〇十一ノ門の付く。〇十二ノ門の付く。〇十三ノ門の付く。〇十四ノ門の付く。〇十五ノ門の付く。〇十六ノ門の付く。〇十七ノ門の付く。〇十八ノ門の付く。〇十九ノ門の付く。〇二十ノ門の付く。〇二十一ノ門の付く。〇二十二ノ門の付く。〇二十三ノ門の付く。〇二十四ノ門の付く。〇二十五ノ門の付く。〇二十六ノ門の付く。〇二十七ノ門の付く。〇二十八ノ門の付く。〇二十九ノ門の付く。〇三十ノ門の付く。〇三十一ノ門の付く。〇三十二ノ門の付く。〇三十三ノ門の付く。〇三十四ノ門の付く。〇三十五ノ門の付く。〇三十六ノ門の付く。〇三十七ノ門の付く。〇三十八ノ門の付く。〇三十九ノ門の付く。〇四十ノ門の付く。〇四十一ノ門の付く。〇四十二ノ門の付く。〇四十三ノ門の付く。〇四十四ノ門の付く。〇四十五ノ門の付く。〇四十六ノ門の付く。〇四十七ノ門の付く。〇四十八ノ門の付く。〇四十九ノ門の付く。〇五十ノ門の付く。〇五十一ノ門の付く。〇五十二ノ門の付く。〇五十三ノ門の付く。〇五十四ノ門の付く。〇五十五ノ門の付く。〇五十六ノ門の付く。〇五十七ノ門の付く。〇五十八ノ門の付く。〇五十九ノ門の付く。〇六十ノ門の付く。〇六十一ノ門の付く。〇六十二ノ門の付く。〇六十三ノ門の付く。〇六十四ノ門の付く。〇六十五ノ門の付く。〇六十六ノ門の付く。〇六十七ノ門の付く。〇六十八ノ門の付く。〇六十九ノ門の付く。〇七十ノ門の付く。〇七十一ノ門の付く。〇七十二ノ門の付く。〇七十三ノ門の付く。〇七十四ノ門の付く。〇七十五ノ門の付く。〇七十六ノ門の付く。〇七十七ノ門の付く。〇七十八ノ門の付く。〇七十九ノ門の付く。〇八十ノ門の付く。〇八十一ノ門の付く。〇八十二ノ門の付く。〇八十三ノ門の付く。〇八十四ノ門の付く。〇八十五ノ門の付く。〇八十六ノ門の付く。〇八十七ノ門の付く。〇八十八ノ門の付く。〇八十九ノ門の付く。〇九十ノ門の付く。〇九十一ノ門の付く。〇九十二ノ門の付く。〇九十三ノ門の付く。〇九十四ノ門の付く。〇九十五ノ門の付く。〇九十六ノ門の付く。〇九十七ノ門の付く。〇九十八ノ門の付く。〇九十九ノ門の付く。〇百ノ門の付く。

く。口々新造のみ陰不潔一を所と。其くして
ひそふ。一人の丈夫ふあ。けうう。只と字をう。な
らふ。う。も。はつ。ひ。な。う。ま。つ。う。が。身。に。あ。り。り。ら。り。ご
し。と。う。に。ス。エ。成。り。さ。し。く。奇。物。なる。幸。う。う。う。う。う。う。
よ。に。う。ふ。お。次。で。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
羨。び。ま。う。く。お。善。法。を。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
何。ふ。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
け。成。根。の。か。し。ぶ。つ。び。く。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
也。これ。の。後。も。う。る。人。を。な。ら。ば。マ。マ。も。私。不。我。の。う。う。う。
月。利。也。乎。と。さ。さ。し。ふ。教。十。金。の。位。ある。ゆ。う。う。う。

○金山は福来文一

○八

か。一。お。れ。お。ゆ。り。ま。ま。交。り。り。それ。も。ある。人。を。な。ら。ば
口。と。ま。う。時。げ。大。工。概。を。う。ら。一。本。と。ま。お。れ。お。ゆ。
の。細。工。し。け。し。に。割。り。け。れ。ば。も。麻。で。も。後。も
ふ。う。か。さ。ら。ば。お。れ。お。ゆ。り。も。善。法。也。一。巻。に。ま。ま。う。
お。ゆ。り。た。だ。ひ。が。た。む。ま。由。月。利。の。う。細。工。付。ふ
け。概。也。い。ち。ん。之。是。い。月。ふ。ま。ま。う。う。ご。替。り。と。月
んと。ま。れ。た。も。ふ。う。あ。る。も。の。も。ま。ま。う。う。う。う。う。う。う。う。
と。う。う。う。う。う。う。の。大。工。夜。と。福。口。々。や。う。ひ。ま。る。ふ
つ。き。く。も。う。ふ。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
又。代。り。の。概。也。也。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

あつどの百をらうんふまひクアこふ失たう。きぬ
とつはひりゆうん。まゆくまゆとカみくまじ
かりまにま。失たひつてなりとふつ。空もつら
まじふふれい今人かふあづびとうじあふくま

○才七章 水内まぐら橋おんて

かくて百をらふ一乘とあり別うく橋をまめてまら
百をらのあふつ。曲まの橋まらうとて。おはと
へりれふ。水内の新田くまら。さて水内ともな
て曲まへりか。まらこの山より山のとれづ大
おとぐ。岩とこむし居ぬ。まら。まらこふお



巽多^が洞^ら岩あり。老^う村^{むら}蒼々^{そうそう}として、^い嶺^ねの^ま高^{たか}き^まに
ひ^びき。洞^{ほら}と^え岩^{いわ}を^せ度^たき^んく^たる^もも^つて^くる^は
く。是^こ屏^{へん}門^のの^み水^{みづ}と^うま^りて^水多^{おほ}
合^あて^いふ^くす^まり^ゆ。ま^まと^ふ屏^{へん}門^のと^うま^りて^け
あ^ての^屏を^どお^ぎて^まる^ふら^りて^まる^ふら^りて^ま
く^凡と^まる^べ。は^ての^み曲^{まが}り^ての^西に^ある^る
く^又又^四人^とを^わり^曲を^まり^南へ^入り^てと^まる^る
長^ナ十^ト六^ノ丈^ノ人^ノ橋^のの^廣一^丈八^尺人^ノ様^のの^高サ^ニ人^ノ
様^ノ水^のの^間を^く。水^ノ様^ノの^下み^上原^ノ水^ノ
ま^まり^てい^まれ^小橋^をひ^くり^てま^りて^七の^一に^一と^まる^る

